



H28. 2. 1 (月)

研究協議会での
グループ討議の
様子

2月1日、柏第三小学校にて公開授業と研究協議会・第3回消費者教育推進連絡会を開催しました。公開授業を行ったのは1年3組担任和田教諭です。消費者教育の根幹を成す「批判的思考力」を養う素地となる授業で、通常の道徳の授業の中に、消費者教育の視点が無理なく組み込まれていました。

当日は、連絡会委員の先生方の他、横浜国立大学教育人間科学部西村教授、(公財)消費者教育支援センター 柿野総括主任研究員、遠くからは姫路市教育委員会山口学校指導課長など、多くの方々が参観しました。

前号に続き、委員による消費者教育の視点を持った授業をご紹介します！

小学校 総合的な学習の時間



田中北小学校 第5学年
東條 正興 先生

世界に誇る『クールジャパン』の魅力を発見し、発信しよう
世界の水問題に挑む日本の技術力

<目標>

世界の水をめぐる問題に気づき、その対策に日本の技術が貢献していることを知る。

<参観者感想>

バーチャルウォーター等、目の前にある“モノ”とその中身、つまり「あれども見えず」に着目することは、消費者教育として不可欠と感じた。

お買い得なのはどっち？

<目標>

単位当たりの価格を求め、お買い得なのはどちらかを判断することができるようにする。

<参観者感想>

児童の苦手意識が強い「単体量」の単元に、実生活で誰もが直面する素材を取り入れたことで座学から生きた学習になったと思う。

小学校 算数



酒井根西小学校 第5学年
稲田 説子 先生

**震災復興の願いを実現する政治
政治への参加(投票率を上げるには)**

<目標>

たくさんの方が選挙に参加する方策を考えることにより、国民の政治参加への意識を考えることができる。

<参観者感想>

「政治に参加する」ということは、消費者として声をあげること捉え、投票はそのためのチャンスという観点が興味深かった。

小学校 社会科



高田小学校 第6学年
澤田 堂樹 先生

中学校 家庭科



柏第三中学校 第3学年
生田 史恵 先生

環境に配慮した生活

水を節約し排水の汚れを減らすには

<目標>

家庭生活で使用されている水の利用状況を確認し、生活のしかたと環境との関わりに気づくことで、水の節約や排水の汚れを減らす工夫を考え、実践することができる。

<参観者感想>

実験を通して得られた結果や感じたことから、考えを共有し、日常生活上の消費行動につなげられたことがとてもよかった。

**クールジャパンと日本のこれから
生産者の顔が見えると行動が変わる**

<目標>

- ・和食が世界に広がっていることを知る。
- ・食材によっては日本での確保が難しくつつあるものがあることに注目させる。
- ・日本のODNの成果で現地の人々の生活が向上し、日本での食材の確保が可能になった例を知る。
- ・各国との間で限られた資源を奪い合うのではなく、共に生きていくためにはどうすればよいかを考える。

<参観者感想>

「値段」に世界中の人々の働きや思惑がかかわってくるがよくわかった。身近な庶民の食品の価格の高下にグローバルな視点が持てた。

高等学校 現代社会



県立沼南高柳高等学校 第1学年
倉田 和明 先生

小学校 道徳



柏第三小学校 第1学年
和田 恵吾 先生

わたしの見えかた、あなたの見えかた

<目標>

- ・絵本のイラストから自分と他人では見え方が違うことを理解する(道徳教育の視点)
- ・身の回りの情報に対して、批判的に判断しようとする態度を育む(消費者教育の視点)

<参観者感想>

絵本を使っでの消費者教育、とても勉強になった。人に流されることなく自ら選び決定するという「自立した消費者の基本」が1年生向けに考えられていた。